

どなたでも
ご参加
できます。

参加
無料

和歌山県認知症疾患医療センター

第12回

市民公開講座

第23回
研修会

【当日のプログラム】

【と き】 令和5年 **11月4日** 土
14:00～16:00 (開場13:30～)

【ところ】
和歌山県立医科大学 講堂
(和歌山市紀三井寺811-1) ※裏面の地図でご確認ください

【定 員】 **100名** (定員超過の場合のみ抽選)
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、定員に変更の可能性あり

プロフィール はち や かず お
蜂谷 和郎 先生

彫刻家 臨床美術士1級
日本臨床美術協会常任理事 臨床美術学会常任理事
芸術造形研究所講師 法政大学兼任講師

1958年 東京生まれ
1984年 東京芸術大学彫刻科卒業
1996年 臨床美術の立ち上げに携わる。
1986年から子供造形教室の講師として子供たちに美術指導を行っている。臨床美術の立ち上げよりかわり、1996年より認知症者を対象にした臨床美術の講師となる。1997年より自閉症児のクラスを担当、臨床美術士養成講座も担当している。

基礎講演 14:00～14:20

もの忘れだけではない
認知症の症状

～見て・感じて・手を動かすことの大切さ～

講師 **西林 宏起** 先生

和歌山県立医科大学附属病院
脳神経外科学講座 准教授
日本認知症学会専門医・指導医

特別講演 14:20～15:20

認知症予防と
臨床美術的アプローチ

【講演25分／制作25分／鑑賞会10分】

みなさまにも絵を描いていただける
プログラムもあります。

講師 **蜂谷 和郎** 先生

特定非営利活動法人
日本臨床美術協会



休憩 15:20～15:40

質疑応答 15:40～16:00
(終了予定)

- 要約筆記、手話通訳をご用意しています。
(ご希望の方は参加申込時にご連絡ください)
- 当日ご参加の方は、ご自身の体調管理とマスク着用・手指消毒のご協力を願います。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

主催 和歌山県立医科大学附属病院 認知症疾患医療センター

参加申込については
裏面をご覧ください

ご参加は以下の **FAX** **メール** **電話** のいずれかの方法でお申し込みください。



参加申込票 (1人につき1枚、申込票をご使用ください)

ご氏名	(ふりがな)	電話番号

以上にご記入の上、**073-441-0515** までFAXをお送りください。



件名に「参加申込」と明記し、
「ご氏名(ふりがな)」「電話番号」をご記入の上で、

スマホで
カンタン申込



dementia@wakayama-med.ac.jp

までご送信ください。登録完了後、当センターからメールを送信いたします。



下記のお問い合わせ先までお電話いただき、必要事項をお伝えください。

お問い合わせ先

073-441-0776 (平日8:45~17:30)

和歌山県立医科大学附属病院 認知症疾患医療センター

【飲料水等が必要な方は、来場前に各自でご準備をよろしくお願いいたします】

※中止の場合は和歌山県立医科大学附属病院 ホームページにその旨掲載いたします。

また10/26(木)時点で参加のお申し込みがあった方に対しては、電話にて中止の連絡をいたします。

※お預かりした個人情報は、本講座の運営のみに使用し、他の目的での使用、第三者への提供は行いません。

講演会場(講堂)

会場までのアクセス



バスのご利用

JR和歌山駅または
南海和歌山市駅から、
和歌山バス「医大病院」または
「医大病院前」下車
(各バス停は地図を参照)



電車のご利用

JRきのくに線
紀三井寺駅下車
徒歩約7分



お車のご利用

地図中の青色の
矢印方向に進んで、
立体駐車場(有料)
をご利用ください。